

ぼう けん 冒 険 の 本 ~ 3 , 4 年 生 へ ~

八千代市立図書館

くらやみ城の冒険

マージェリー・シャープ / 作

渡辺茂男 / 訳 岩波書店 [933 シ]

ミス・ピアンカは、大使館に住む、白ネズミです。

ある日、「^{しゅうじん}囚人友の会」にたのまれて、思いもかけない冒険にのりだします。友の会のバーナード、船乗りのニルスとともに、くらやみ城にとじこめられている詩人を助けに行くのです。



風のまにまに号の旅

BB / 作

神鳥統夫 / 訳 大日本図書 [933 ビ]

はたねずみのマティから、貨物船をゆずってもらったあなぐまのビルは、五十ポンドの金貨を運ぶ仕事を引き受けます。ところがその先には海ぞくどらねこビッグの一味が…。ビルは仲間と力を合わせて金貨を運ぶことができるのでしょうか。



ルーシーの家出

キャサリン・ストア / 作

山本まつよ / 訳 子ども文庫の会 [933 ス]

おはなしの中の人のように、家出をして、ぼうけんがしたくてたまらないルーシー。8 才になったときに家出をすることを計画します。お金をため、荷物も準備し、みごと家出に成功します。さて、めざすのは、昔行ったことのある海です。



スプーンおばさんのぼうけん

アルフ=ブリョイセン / 作

大塚勇三 / 訳 学研 [949 プ]

きゅうに、ティースプーンくらいに小さくなってしまいうスプーンおばさん。小さくならもうたいへん。浅いと思った沼は海のように深くなってしまいますし、小さなネコモトラのように大きくなってしまいます。そんなおばさんのぼうけんとは？



ながいながいペンギンの話

いぬいとみこ / 作 岩波書店 [913 イ]

ペンギンの兄弟、くしゃみのルルとさむがりやのキキの物語。やんちゃなおにいちゃんルルは、かつてに外に出たり、遠くに行こうとしたり、いつもおかあさんやおとうさんに心配をかけています。ちょっとよわむしなキキは、ルルと一緒にいるのが大好きでしたが…。



子ねずみラルフのぼうけん

ベバリー・クリアリー / 作

谷口由美子 / 訳 童話館出版 [933 ク]

山のふもとのホテルに住むネズミのラルフは、そのホテルにとまった少年キースのまっ赤なミニカーで遊びたくて仕方ありません。キースがいない間に、こっそりと乗ってみますが、ゴミ箱に落ちてしまいます。そんなラルフを助けてくれたのは…。



~ ほかにも ぼうけんの本 ~

- ・ スチュアートの大ぼうけん E.B.ホワイト / 著 あすなろ書房 [933 ホ]
- ・ 黒ねこサンゴロウ 竹下文子 / 作 偕成社 [913 タ]
- ・ ネコのドクター小麦島の冒険 南部和也 / さく 福音館書店 [913 ナ]